



# MBニュース



## 【2015年度産麻笥産地情報①】

丸松物産株式会社

広東省にある弊社中国工場、松徳豊食品有限公司の情報によりますと、麻笥の生産地である広東省福建省では天候にも恵まれ、現時点では豊作になる見込みであり、例年どおり7月初旬から9月初めまでの生産を予定しているとの報告が参りました。しかし、近年中国では野菜の価格が高騰しており、その為安価な健康食材として、麻笥の中国国内消費が増えております。この様な状況から今年の麻笥原料価格は昨年より高くなると予想されており、麻笥を原料とする「メンマ」もスタートから昨年より高くなる可能性があるとのことです。今後台風などの自然災害の影響により、生産量も左右されますので、弊社と致しましては、引き続き産地情報を収集し、新情報が入り次第ご報告させていただきます。

## 【2015年度産チェリー産地情報】



中国産チェリーの生産は6月の初旬から20日頃まで行われますが、チェリーの産地である山東省煙台地区の今春は、寒暖差の激しい不安定な天候で、その上冷害にも見舞われた為に、開花・結実に悪い影響を及ぼし、今年の収穫量は30%~50%減産するとの報告が現地より参りました。その為に原料価格は昨年より25%前後高くなっております。また、人件費も昨年より約10%上昇しており、為替(昨年101円、今年123円)の影響もあり、新物の販売価格は値上げせざるを得ない状況になっております。弊社と致しまして、今後も適切な仕入交渉を実施し、安定供給に努めて参る所存でおります。

チェリーの栽培風景



※ 弊社国内工場があります山形県上山市のさくらんぼも加工用、生食用共に減産しておりますが生食用は甘くて、粒も揃っている果実が実ったとのことです。

## 【中国日本商会在白書 企業の5割が中国事業拡大希望】

中国日本商会は17日に北京で、今年の「中国経済と日本企業白書」の記者会見を行った。調査によると、2014年には在中国日系企業の46.5%が中国業務拡大の意向を示し、この割合は13年に比べ7.7ポイント低下した。人民網が伝えた。

同白書のデータによると、14年の日本の対中投資額は43億ドル(約5298億円)で前年比38.8%減少し、2年連続の減少となった。また日本貿易振興機構(ジェトロ)が14年10月から11月にかけて在中国日系企業を対象に行ったアンケート調査によると、今後1~2年間に在中国業務を「拡大する」とした企業は46.5%で割合は同7.7ポイント低下し、「現状維持」とした企業は46%で同6.5ポイント上昇し、「規模を縮小する」とした企業は6.5%だった。他国への移転や撤退を選択した企業はほぼゼロだった。

同商会の田端祥久副会長兼調査委員会委員長は日本の対中投資規模の縮小や業務規模拡大の意向の低下について、「主な原因は中国経済全体の変化にある。たとえば人件費の増大だ。中国で加工し輸出する企業は『拡大』の意欲が低く、輸出の国内販売への転換、その他のコストの削減、営利部門の収益向上などの方法で企業の戦略を積極的に転換させ、中国市場に対応しようとしている。卸売、小売、輸送設備といった中国国内販売型の企業は規模拡大の傾向がより強い。」と話した。(編集KS)

「人民網日本語版」2015年6月8日より一部抜粋

## 【夏向けお勧め商品】

	商品名	中華春雨 1kg×10	
	商品説明	弊社、中華春雨の味付は和風ダシを効かせており、これからの暑いシーズンにピッタリな商品となっております。常温商品なので、そのままでも召し上がれますが、少し冷やすと更に美味しさが増し、絶品商品です。	
	主要原材料	春雨、砂糖、木耳、人参、醤油	
	賞味期限	製造日より6カ月	
	使用上の注意	開封後は10℃以下に冷蔵して、5日以内にお召し上がり下さい。	